

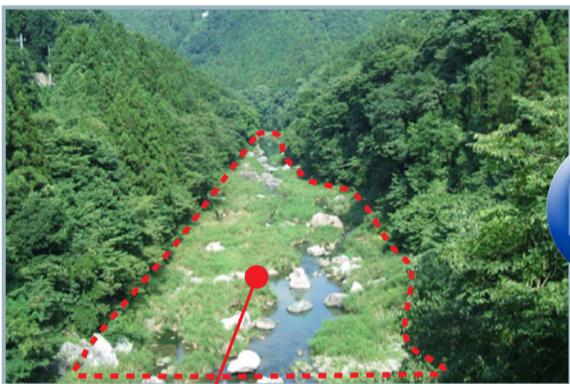
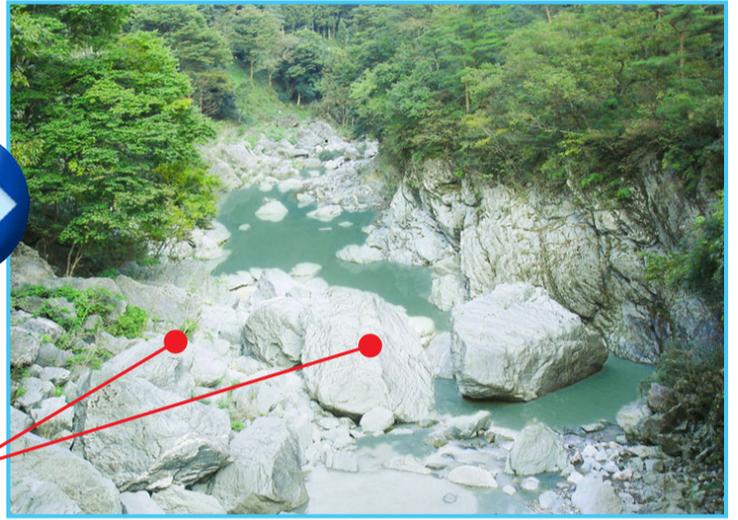
美しい自然との響働。

平成19年9月の台風9号による洪水の時、
ダムの放流水を利用して砂利を同時に流しました。
その結果、砂利のクレンジング効果（石を磨きコケや雑草などを削る効果）で、
三波石の輝きを取り戻しました。



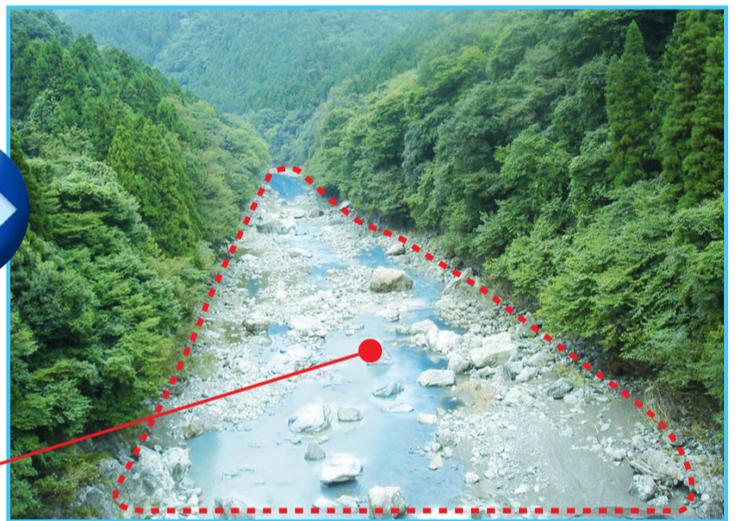
色が黒く
汚れています。

白く磨かれ、
雑草もなくなっています。



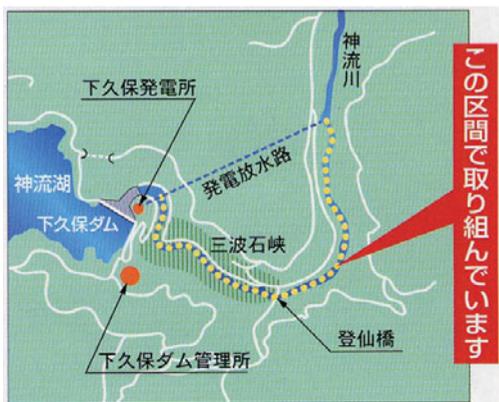
雑草がいっぱい
生えています。

白く磨かれ、
雑草もなくなっています。



苔むし、雑草も
生えています。

白く磨かれ、
雑草もなくなっています。



昭和44年の管理開始以来
下久保ダムは水の流れとともに
砂利の流れも止めてしまい
ダム下流の三波石峡は荒廃していました。
現在は、三波石峡に昔日の景観を取り戻すため、
水資源機構下久保ダム管理所では
地域と連携しながら様々な取り組みを
行っています。

ダム下流河川環境改善のとりくみ紹介

ダムからの放流

平成13年7月からダムの直下から水を流し始めました。
この放流により、雑草が茂っていた河原に清流が復活しました。



取組前（平成9年10月）



取組後（平成16年5月）

砂利を流下

さらに平成15年からダム放流時に砂利を流下させることにより、河川環境の復元を目指しています。流された砂利で三波石が磨かれ、美しい輝きを取り戻しています。



ダムの下流に積まれた砂利



ダムからの放流で砂利が流される

ヤマメ放流と学習会



地域の子供たちが「地域の宝 三波石峡」に親しみ理解を深め、ヤマメの放流などを通して環境保全の大切さを学び、名勝の復活を願う活動です。



みんなで力を合わせて
昔の美しい自然を
取り戻そう!!



現在の三波石峡

